

令和4年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22003	事業名	亀山駅周辺整備事業			
	事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()					
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上		予算科目	会計	01:一般会計
		基本施策	01:魅力的な都市空間の形成			款	08:土木費
		施策の方向	02:活力ある市街地の形成			項	04:都市計画費
		重点プロジェクト	01:「健都さぶり+」プロジェクト			目	01:都市計画総務費
事業期間	H 28 年度 ~ R 4 年度	主な根拠法令等	都市計画法、都市再開発法、都市再生特別措置法				

評価分類	B2
------	----

担当部署	
部	建設部
課	都市整備課 市街地整備G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	市の玄関口であるJR亀山駅周辺は、交通拠点性の脆弱性にぎわいの衰退等により、都市拠点としての機能低下が顕著であることから、交通機能の充実やにぎわいの創出を図ることで中心的都市拠点の求心力を高めていく必要がある。	JR亀山駅周辺	市の玄関口であるJR亀山駅周辺の再生を進めることで、駅周辺のにぎわいづくりと活性化、利便性及び安全性の向上を図る。	JR亀山駅周辺のにぎわいづくりと活性化に向け、地域とともに駅周辺の再生に取り組む中、平成27年度に策定した亀山駅周辺市街地再開発推進計画に基づき、JR亀山駅周辺の整備を進める。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画	○共同施設整備等(補助金) ○駅前広場整備等(負担金) ○亀山駅前線整備(負担金) ○亀山駅西駐輪場整備			
	活動実績 (計画通り実施できたか)	市街地再開発事業を施行する市街地再開発組合に対し補助金や負担金を交付するとともに、工事への技術的援助を行うことで、令和4年10月21日に工事が完了した。また、駅利用者等の利便性の向上のため駐輪場の整備を進め、令和4年9月30日に供用を開始した。なお、駐車場整備については、他の工事との工程調整のため、工事の完成に至らなかった。			
計画額	事業費	763,500千円	1,874,008千円		
		国・県支出金	337,500千円	864,564千円	
		地方債	221,300千円	713,400千円	
		その他			
決算額	事業費	204,700千円	296,044千円		
		国・県支出金		864,564千円	
		地方債		713,400千円	
		その他			
①期間内事業費(R4-7)		763,500千円	②期間外事業費(R8-)	0千円	①+②総事業費
					763,500千円

(令和4年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	1,117,015千円
当年度の最終予算額	760,000千円
次年度への繰越額	3,007千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 指標 (C)	事業進捗状況(2ブロック)	活動		計画値	施設建築物工事完成			
				実績値	施設建築物工事完成			
亀山駅周辺駐輪場供用箇所	亀山駅周辺の市営駐輪場の供用箇所数	成果	箇所	計画値	2			
				実績値	2			
				計画値				
				実績値				

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
A	市街地再開発事業について、市街地再開発組合への支援を行うとともに補助金や負担金を支出することで、令和4年10月21日に工事完成・引渡しを行うことができた。また、駅利用者の利便性確保のため整備を進めた西駐輪場について令和4年9月30日に供用を開始することができた。その結果、再開発ビルの公益保留床に整備した図書館は、開館46日で来館者数5万人を達成するなど、にぎわいの核となっている。
十分な成果を得た	

事業の対象	事業の目的
JR亀山駅周辺	市の玄関口であるJR亀山駅周辺の再生を進めることで、駅周辺のにぎわいづくりと活性化、利便性及び安全性の向上を図る。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項

⑦ 事業の展開 (A)	方向性
完了	目的の達成又は周期の到達等により事業を完了する。
	改善・見直し内容
	令和5年度で対応する(した)もの
	令和6年度以降で対応するもの

【履歴】	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	A			
事業展開	完了			

1次評価者	建設部 都市整備課 市街地整備GL 山里 淳一
最終評価者	建設部 都市整備課長 藤尾 春樹